

風話鈴香

発行所
 尼崎市小中島1-1-18
 社会福祉法人
 阪神共同福祉会 園田苑
 TEL06-6493-3731
 発行責任者
 理事長 中村 大蔵

私達の目指すもの

- 一、地域に開かれた施設
- 二、入居者、家族、施設、地域のみんなで作る福祉を！
- 三、老人と共に生きがいを見い出す生活を

社会福祉法人 阪神共同福祉会 園田苑

2020年度が始まりました。介護保険制度開始20年。家族が介護を支える時代から家族と共に地域、社会、医療福祉サービスの協働で介護を支える時代に果たしてなったのでしょうか。そんな中の新型コロナウイルス。目に見えないウイルスに「恐怖」の日々。感染症の恐ろしさよりも風評被害、差別、偏見の怖さに「恐れる」毎日でした。その気持ちは非常事態宣言が解除されても意識の中からは抜けません。しかし、この間、私たちは人とのつながりの大切さを知り、自分の命を守ると共に他人の命を守る行動を常に考えてきました。これからも感謝、希望を忘れず新しい日常を送ります。

新型コロナウイルスの感染防止のため、家族・地域・ボランティアの皆様の出入りを制限させていただき3か月経過しました。例年であれば善法寺公園で花見をし、藻川にこいのぼりが泳ぐ季節に苑庭で青空喫茶を楽しむはずでした。

今年を命を守る行動を優先し、毎日を用意して生活することに専念しました。大勢の職員が使用している布マスク。

職員がミシンをかけ、マスクの生産に励んだのはもちろん、自宅でマスクを手縫いしてくれた職員、地域の方、ボランティア、たくさんの方々にマスクを寄贈していただきました。ありがとうございました。

感染症と付き合う生活はしばらく継続します。基本的な感染症対策をきちんととり、感染が怖いから何でも止めておこうではなく、「美味しいものが食べたい」「家族に会いたい」「大きな声で歌いたい」「買い物したい」など「生きる楽しみ、張り合い」は可能な範囲で再開していきます。以前のように大勢での行事はできませんが、少数での催しを考えていきます。

特養では家族会の会長と今年度の活動について話し合いが行われました。できる活動を企画して実施する予定です。

6月1日。3か月ぶりに事務所前で面会をされたNさん。「正直、私の名前を覚えていないか心配していました」と娘さん。

「私の事も覚えていたし、元気そうな顔で安心しました。もうすぐプロ野球も始まるし、楽しみやね。お母さん元気だね。」と、いつも通り会話も弾んでいました。



誰のために、何のために。「大切にすること」は継続し、命を守るための行動、「変えることができるもの、変えていくこと」は取り入れ、継続していきたいと考えています。

家族・地域・ボランティアの皆様にはお願いや制限させていただくことも多く、今まで通りにいかないこともあると思います。今後ともご理解、ご協力よろしくお願い致します。

(施設長 河合恵子)

つづれ草子

4月4日(土)の朝礼で「今日のお昼ご飯は開花ロールです」と報告がありました。

「開花ロール？」聞きなれない献立に興味深々。厨房の和田さん手作りの巻き寿司です。



桜のピンクはしば漬け、枝は海苔で色付け。薄焼き卵で巻き、目で見て華やか、食べておいしくお花見気分を味わうことができました。

6月15日で満18歳を迎える犬のゆすら。両目は白内障で全く見えませんが、ご飯も水も自分の力で食べたり飲んだりすることが出来ます。一日寝ている日もあれば、元気に散歩に出かける日もあって、私たちは「あるがままのゆすら」を受けとめています。



入居者の古賀さんはゆすらのそばに行き、声をかけ、体を撫でてくれます。特養の山崎主任は夜勤の休憩中に体をきれいにしてくれます。事務の角さんはゆすらの好みをよく知っていて、一番のお気に入り、かつおやささみだそうです。ゆすらからも元気をもらっています。

同類の『ゆすら』に学んで

理事長 中村大蔵

ゆすらの母はグループハウスに居たさくらである。桜の子だから、母親から一字ももらって山桜桃(ゆすら)と命名した。父親の行方は今もわからない。犬の18才は人間にしたら百歳近い長寿である。ゆすらの前には、リッチなる雄犬が、二代にわたって君臨していた時期がある。リッチの母親は由緒正しきセレブな方ではない。だからリッチの命名由来はよくわからない。

だが、リッチは犬それなりの寿命だった。二代目リッチもいたが、不幸にして交通事故で亡くしてしまった。

リッチもゆすらも入居者、職員、ボランティアには大変可愛がられ、園田苑のマスクットである。ほとんど寝たきり否、「寝たふり老人」Hさんがいた。タバコを吸う時と食事、トイレ以外は殆どベッド上の生活だった。

だが、無類の犬好きだった。「イヌ、見に行こう」と声をかけると起き上がり、玄関までやって来た。ある時などは冷(さ)ましていたリッチの食事を、「うまい、うまい」と食べたこともあった。

ゆすらはみんなから利口な犬だと言われている。ある夜、不審者の侵入を唸り声で退散させた武勇伝もある。職員に劣らぬ働きをする犬だ。散歩に行きたい時は自ら紐を噛ませてやって来たことも。

そんな勇気も愛嬌も今はなく、両眼とも年齢相応の白内障で、昼間はうつらうつらと眠っている。

早朝定例の善法寺を渡り対岸の堤防を歩き、園田橋を渡って一巡する散歩は足腰が弱って行けない。

でも、散歩で出会う人たちは覚えていて、「わんちゃんどうしてる」と、今朝も声をかけてくれる。

同じ哺乳類のゆすらと付き合って学んだことは多い。特に排泄時に腹圧をかけ声門を閉じ口腔内を陰圧にする。老いて立ち上がる前脚と後脚のバランスの取り方など、人間介護に参考になる。

苦肉の感染予防

～デイサービス Zen～

新型コロナウイルスが流行する中、厚生労働省より感染防止対策を厳重に徹底したうえで事業の継続が要請され、対策を日々、模索しながら事業を継続しています。

園田苑では、約2週間に1回、新型コロナウイルス対策会議が行われており、主に各建物内（園田苑支援センター SA ドーム）での報告を行っています。

その中で利用者の方には、安全を優先し家庭での対応が可能な方には出来るだけサービス利用の自粛をお願いしながらも営業を行い、サービス時には、検温をさせていただき、37.5℃以上の発熱がある場合は、利用を中止していただくことと決定しました。

Zenでは、毎年、インフルエンザが流行する時期に空気の乾燥を予防するためにカセットコンロにやかんをかけて蒸気を出すようにしています。

例年は、12月～2月を目途に行っていますが、ウイルスは、湿度に弱いのではないかと考えから今年も、3月まで行いました。

4月から引き続き、手洗い、うがい、換気、消毒を徹底したうえで営業し、Zenでのハード面の対策として仕切りの設置案を会議で出しましたが、刑務所みたいやると揶揄されることもありましたが、

しかし、事業所としてサービス利用の自粛をお願いしたにもかかわらず、無策でご利用いただいていたのだから、利用者の方々がコロナウイルスの脅威にさらされ生命、生活が奪われないよう営業を行う上で典型的な3密（密閉・密集・密接）が避けられない場所である以上、飛沫感染予防のためと思い私が材料を購入し、仕切りの作成を行い、このような形で営業しました。



後日、似たような商品が販売されていることがわかり、一足早く、手作りで対応する行動力に驚き。

一部の利用者の方からは、テレビが見えない、顔が見えないなどのご意見もありましたが、なぜ、このような対策を取らせていただいたのか、もしZenで利用者の方が新型コロナウイルスを発症された場合どうなるのかをお伝えさせて頂きました。

現在、緊急事態宣言が解除され、解除による反動を憂慮しながら横の仕切りの撤去と高さの変更を行っています。



殺風景にならないよう、ぬり絵の作品や、心が和むように工夫されています。職員の心遣いが光ります。

私は、薬とワクチンの開発がなされなければ、収束することはあっても終息することはないと思っています。

一刻も早くこの仕切りを取っ払って元の状態で営業できることを心より願い、大切な目の前の利用者の方々に今できる事を職員一丸となって精一杯行っていく危機的状況を乗り越えたいと思っています。（管理者 西井 明夫）

その人にとっての大切な誕生日

特養では、その人の誕生日に合わせて特別なお食事を提供しています。

緊急事態宣言下においても生活は日々続いており誕生日は必ずやってきます。

お食事の形態が皆さん異なるので、主役の方がより食べやすいメニューを趣向を凝らして作っています。

寿司好きの方の日は厨房職員の握り寿司、咀嚼が難しい方にはパピコなどで作ったプリンフラペチーノ、キリのいい年齢の方には数字を模ったケーキ等でお祝しています。



～園田南地域包括支援センター～

新型コロナウイルスもようやく落ち着いてきましたね。まだまだ油断は禁物ですが、皆さんいかがお過ごしでしょうか？

園田南地域包括支援センターは、コロナの間も通常通り開所していましたが、世間の様々な会議体や地域の集まり、また、サロンやいきいき百歳体操も軒並み中止になり、活動が大幅に制限されてしまいました。

「では何をしていたんだ？」という厳しい指摘が聞こえてきそうですが（笑）、民生委員さんが活動を休止されているため、その代わりに地域のお年寄りの見守り訪問活動、コロナ対策を伝える包括新聞の配布など、毎日忙しく活動してまいりました。

この時期、コロナ詐欺が多発しています！「給付金受け取りの手続きを代わりにしますよ」などの電話は絶対相手にしないでください！また自粛が長引き、皆さん運動不足になっています。適度に身体を動かしましょう！これからは暑くなります。マスクは必要ですが、熱中症などに注意しましょう！

これからはいきいき百歳体操やその他の地域活動も、徐々に再開していけるようです。また皆さんと会えるのを楽しみにしています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。（管理者 奥島 崇）



職員募集

（調理パート 介護正規職員）
調理、給食の経験者歓迎！！
直営で手作りの食事にこだわっています。介護の正社員は経験・資格問いません。詳細は園田苑ホームページから採用情報をご確認ください。
園田苑 06-6493-3731

法人理念

阪神共同福祉会は
すべての人の命を大切にし
地域福祉の担い手となる

お知らせ

7月1日より感染症予防の対策をした上での建物内の出入りを解除していく方針です。発熱されている方は入苑できません。マスクの着用、入り口での手指消毒にご協力よろしくお願い致します。
今後の行事は、例年通りの規模は困難ですが、可能な範囲で季節感を味わえる、御家族と楽しめるものと考えて実施する予定です。

編集後記

今年の夏の新ガジェットは腰ベルト扇風機。服の中にファンの風が送られるので、服をパタパタしなくても涼しく感じられるという物。熱中症対策を色々としながら夏に向けて準備をしています。（きりん）

この大変な時、新しい出発をした息子へ

『いのちいっぱい じぶんの花を』みつを

（だるま大使）

『井の中の蛙 大海を知らねども』

花は散りこみ 月は差し込む』作者不明

（ものぐさガエル）

ステイホーム中、我が家の中学生は料理に目覚め、ダルゴナコーヒーを作り、粉からパンを焼く。そのたびに材料をそろえるのは母。

飽きたら断捨離を始め、あつと言つ間にベランダにゴミ袋の山。そして「要らんものだらげやん。母さんも部屋片付けや」と怒られる。

完全に立場逆転。つらいわ（きんたろう）